

第54回観光のしおがま写真コンクール

入選作品展



自由写真部門 特選「鳳凰、羽ばたく」 三浦一泰 (塩竈市)

〈作品展会場及び期間〉

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ふれあいエスパ塩竈 | 1月23日(火)～1月28日(日) |
| 市民図書館 (壺番館4階) | 2月6日(火)～2月25日(日) |
| マリンプラザ (イオンタウン塩釜内) | 2月27日(火)～3月18日(日) |
| 鹽竈神社絵馬殿 (鹽竈神社境内) | 3月20日(火)～4月8日(日) |

※過去の特選作品による回顧展も併せて開催しています。また、各施設の休館日にご注意ください。

※次回の写真コンクール作品募集は、平成30年10月頃を予定しています。

問/塩竈市観光物産協会
(塩竈市観光交流課内 / 平日 10:00～16:00)

TEL 022-364-1165

「第54回観光のしおがま写真コンクール」入選作品展

「平成29年度 第54回観光のしおがま写真コンクール」には、97名の方から合計250点の応募がありました。平成30年1月10日(水)に審査会が行われ、厳正なる審査の結果、以下の皆様が入選されました。

今回も、それぞれの行事・場所・季節など、“様々な塩竈の表情”を切り取った作品が集まり、出品者の皆様が春夏秋冬を問わず、市内のあちらこちらで、シャッターチャンスを待ってらっしゃる姿が目につきました。入選作品をご覧ください、塩竈の「躍動」と「静寂」の一瞬を感じていただければ幸いです。

今後もさらに充実したコンクールの実施を目指してまいります。塩竈のまつりやイベント、風景だけでなく、まちの人々の表情など、皆様の自由な発想でとらえた「しおがま」が写し出されることを楽しみにしております。(次回の応募要項は平成30年9月頃に発表いたします)

《審査委員長講評》

54回目となる今回のコンクールにも、多数の応募をいただきました。風景を切り取るだけでなく、そこにいる人々の表情をとらえる作品が増え、作品全体が生き生きとしているように感じます。浦戸を題材にした作品が入選するなど、塩竈の魅力を際立たせるコンクールになりました。レディース部門の応募作品は優しい印象を受ける作品が多かったです。また、ジュニア部門へも多数の応募者があり、遊び心のある作品が多く寄せられました。

入選されたみなさま、本当におめでとうございます。また今回、入選されなかった皆様の作品の中にも力作が多く、苦渋の思いで落としてしまった作品が数多くあります。皆様の来年の作品も期待しております。

自由写真部門

特 選	鳳凰、羽ばたく	三浦 一泰
準特選	島の秋まつり	後藤 博
準特選	朴島の春	横田 弘
入 選	ハラハラ・ドキドキ 転ばぬ様に	吉田 啓子
入 選	新魚市場の灯	鈴木 泰壽
入 選	御座船海を渡る	森川 隆
入 選	神輿還御	木村 文武
入 選	勇壮なみこし	丹治 郁夫

レディース部門

入 選	桜咲く境内	菊池 郁子
入 選	やぶさめ	菊池 郁子
入 選	かわ 可愛いね	尾形 倫子
入 選	未来の灯	尾形 倫子
入 選	海上のお清め	藤 てる


ジュニア部門

入 選	鮪の解体	尾形 桃花
入 選	みこし	渡邊 優花
入 選	真夏のトラウマ	伊藤 渚砂
入 選	塩竈のみこし	大河内深紅
入 選	続けー!!	竹内 莉穂

特別賞

蒲鉾の水野賞	仁王島を渡る鳳凰丸	鈴木 勲
本舗十字屋賞	夏越しの祭り	横田 弘
鮨しらはた賞	名物母さん	藤島 純七
丹六園賞	塩 釜 桜	白幡 豊彦

※敬称は略させていただきます。
漢字や文字表記などに誤りがございましたら御容赦ください。

- ◆主催 塩竈市、塩竈市観光物産協会
- ◆後援 (公社)宮城県観光連盟、 河北新報社、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、朝日新聞仙台総局、ベイウェブ78.1FM、ケーブルテレビマリネット
- ◆協賛 志波彦神社・鹽竈神社、塩釜商工会議所、丹六園、水野水産(株)、本舗十字屋(協)塩釜水産物仲卸市場、鮨しらはた、(株)高山、みやぎ寿司海道塩竈地域推進協議会
- ◆問合せ 塩竈市観光物産協会(塩竈市観光交流課内) 電話:022-364-1165(平日10:00~16:00)
塩竈市観光物産協会ホームページ <http://kankoubussan.city.shiogama.miyagi.jp>